

スタッフから一言 私たちスタッフ一同は、患者さまとの信頼関係を大切にしております。「この患者さまには今何が重要なのか」をしっかり見極め、対応できるよう、日々自己研磨に努めております。患者さま個人にあった透析ライフを患者さまと共に構築していけるよう、スタッフ一丸とお手伝いさせていただきます。

当院での治療を希望される方へ

当院透析センターでの入院・外来をご希望の方はまず、医療福祉相談室までご連絡ください。

ご利用までの流れ

ご相談 → 受け入れ状況の確認等 → 結果のご連絡 → ご家族との面接 → 透析開始

診療情報提供書等をご用意の上、医療福祉相談室までご一報ください。

当院入院についての説明。患者さまのことについてお伺いさせていただきます。

随時見学等も可能です。お気軽にご相談ください。

ご利用についてのご連絡 担当: ソーシャルワーカー (医療福祉相談室) 診療情報提供書等をご用意の上、ご連絡ください。 TEL: 049-258-2323 (代) FAX: 049-265-6512

無料送迎 三芳町、富士見市、ふじみ野市 (一部地域により要相談) にお住まいの方はご自宅まで、遠方の方は鶴瀬駅まで無料で送迎いたします。車椅子にも対応しております。その他、病院のシャトルバス (鶴瀬駅~病院) が無料でご利用いただけます。シャトルバスの時刻表は当院ホームページをご覧ください。

IMSグループからのお知らせ

医療・介護のことでお悩みはありませんか?

IMSグループイムス総合サービスセンターが、みなさまからの医療・介護のご相談をお受けいたします。詳しくはホームページをご覧ください。

来訪もしくは、お電話かホームページ [メールフォーム] よりお問い合わせください。

0800-800-1632 (代表) **03-3989-1141** (代表)

※「050」からはじまるIP電話および国際電話からはご利用いただけません。受付時間/平日8:30~17:30 土曜日8:30~12:30 (日祝・年末年始休み)

イムス総合サービスセンターのサービス内容や、IMSグループの最新情報をご覧ください。

<http://www.ims.gr.jp/gscenter/>

〒170-0013 東京都豊島区東池袋1-21-11 オーク池袋ビルディング8F

皆さまの声を聞かせてください!

イムス三芳総合病院では、よりよい病院づくりをすすめるため、患者さま・地域の皆さまのご意見を募集しています。ご意見は下記FAX、E-mailまたは院内インフォメーションカウンターに設置のご意見箱まで。皆さまの貴重なご意見をお待ちしております。

FAX: 049-274-7016 E-mail: renkei.mkh@ims.gr.jp

イムス三芳総合病院 広報誌
Plaza ims (プラザイムス) Vol.28 2013.10
発行/イムス三芳総合病院 広報委員会
発行日/2013年10月
〒354-0041 埼玉県入間郡三芳町藤久保974-3
医療法人社団明芳会 イムス三芳総合病院
TEL049-258-2323
<http://www.ims.gr.jp/miyoshisougou/>

IMSグループ 広報誌 プラザイムス

2013年10月 Vol.28

PLAZA IMS
プラザイムス


イムス三芳総合病院

「プラザイムス」は、患者さま、ご家族のみなさまに院内やIMSグループの医療活動、病気になる情報をお伝えするコミュニケーションペーパーです。

透析センターをリニューアル 8床増床、25床に!!

2013年10月より当透析センターの病床数は現在の17床から25床へ増床いたします。このことで、周辺地域の透析医療に更なる貢献が出来ればと考えております。また、増床により患者さま一人ひとりに充実した医療が行き渡らなくなる、といったことが無いよう努力する所存です。今後ともなにとぞよろしくお願いいたします。

透析センター長 明石 真和
日本内科学会認定医/日本腎臓学会腎臓専門医



当院の透析センターは2007年7月にオープンし、移転に伴い12床から17床へ増床、2013年10月には25床へさらに増床いたします。主に慢性腎不全の患者さまに対する血液透析を行っております。

入院透析にも対応しており、血漿交換や血液吸着などの血液浄化も行っております。また、透析患者さまの合併症に対して、各診療科と連携し早期発見・早期治療に努めております。患者さまが安心して快適な透析時間を過ごせるよう全ベッ

ドに液晶テレビを設置し、無料でご覧いただけます。当センターは透析液浄化に努めており、より良い透析治療を提供するため、On-line HDFが可能なシステムを導入しました。この治療法をご理解、同意の上、希望する方に On-line HDF をご提供いたします。



患者さまに安心して治療を受けていただけるよう、私たち職員一同は、日々知識・技術の向上に努め、質の高い透析治療を目指しております。心身ともに健やかな生活を送っていただけるよう、お手伝いさせていただきます。

中面につづく

透析センターのご紹介

当センターでは安全面を考慮し、快適にお過ごしいただけるようベッドの間隔を広くとっているため、ゆったりとした雰囲気でお受けいただけます。入院透析や、ご旅行時の臨時透析も受け入れ可能です。



更衣室

患者さま用の更衣室には、お一人おひとりに専用の鍵付きロッカーをご利用いただけます。個別のシューズボックスも設置しております。

透析用監視装置

On-line HDFにも対応可能な装置を導入しました。



多用途透析用監視装置 DCS-100NX
On-line HDFに対応可能

透析用監視装置 DCS-73

個人用多用途透析装置 DBG-03
HD,HDF,HFなど様々な治療モードに対応可能



KM-9000

血液浄化用装置KM-9000は、持続緩徐式血液浄化法や二重濾過血漿交換、腹水濾過濃縮など多様な血液浄化に対応し、安全性・操作性の向上を目的に多くの機能を搭載した血液浄化用装置です。当院では以下の治療が可能です。

- ・持続緩徐式血液濾過透析(CHDF)
- ・持続緩徐式血液透析(CHD)
- ・持続緩徐式血液濾過(CHF)
- ・血液濾過(HF)
- ・二重濾過血漿交換(DFPP)
- ・血漿交換(PE)
- ・血漿吸着(PA)
- ・血液吸着(HA)
- ・限外濾過(ECUM)
- ・腹水濾過濃縮(CART)

患者さまのために

管理栄養士による栄養指導・食事指導

透析患者さまにとって食事療法や自己管理は合併症予防のためにも重要です。食事療法は保存期と内容が少く変わり、タンパク質の制限が緩和される反面、水分やカリウムの量により注意が必要となります。透析中に管理栄養士がベッドサイドにお伺いして、水分管理やお食事についてご相談させていただきます。ご希望の方にはご家族さまも一緒に指導を受けることができます。

透析合併症の早期発見・早期対応

透析患者さまの快適な透析ライフの実現を目指し、合併症に対して各診療科と連携し早期発見・早期治療に努めております。当院は腎臓内科をはじめとして、糖尿病内科、整形外科、循環器内科など専門医がおり外来診療から緊急入院まで対応できます。



安全管理

透析液浄化への取り組み

長期透析患者さまの重大な合併症として、透析アミロイドーシスがあります。その原因の一つである血中のβ2-ミクログロブリンを除去するために透析膜は大孔径化されましたが、逆に透析液から物質が流入するリスクが生じるため、透析液浄化が重要になってきました。透析液を浄化すると、血中のβ2ミクログロブリン濃度の低下、透析アミロイドーシスによる手根管症候群の発症軽減、貧血の改善、エリスロポエチン反応性の改善、低タンパク血症・栄養状態の改善、慢性炎症反応の改善などの報告があります。当院では透析液浄化に力を入れており、透析液水質管理委員会を設置し、管理計画に基づき水質管理を行っております。当院の水質は、日本透析医学会学術委員会による「透析液水質基準と血液浄化器性能評価基準」に準拠しており、「超純粋透析液」の基準を満たしております。

透析液水質基準と血液浄化器性能評価基準より抜粋

	細菌数[CFU/mL]	エンドトキシン[EU/mL]
透析用水	100	0.05
標準透析液	100	0.05
超純水透析液	0.1	0.001(測定感度未満)



透析通信システム

当院では透析通信システムFuture Net Web+を導入し、体重測定から治療まで患者さまの詳細な治療条件を一括管理することでヒューマンエラーを軽減し、安全な透析をサポートします。

対策1 全自動溶解装置DAD-50NXの導入



透析液を作成する際、粉末透析用剤を装置に投入する時が一番落下細菌などによる暴露が起こりやすいと言われております。当院が導入した全自動溶解装置DAD-50NXは、粉末製剤の入ったボトルを装置内で自動的に開封し溶解するため、開封時における落下細菌などによる暴露の危険性が減少します。ほとんど外気に触れず、密閉回路内で溶解することで、質の高い透析液が作製できます。

対策2 微粒子濾過フィルター(ETRF)の装着



透析液中のエンドトキシンなどがダイアライザに流入しないように、透析用監視装置全台、全自動溶解装置、透析液再循環装置に微粒子濾過フィルターを装着し、定期的に変換しております。

対策3 透析液再循環装置



一般的に透析液の配管は末端が行き止まりになっておりますが、当院では透析液供給装置後に再循環装置を設置し透析液配管をループ配管とし、常に透析液が配管内を循環している状態にすることにより、透析液の停滞を無くしてまいります。また、再循環装置のETRFを通過するため、さらなる浄化に寄与しております。

対策4 RO装置の熱水消毒

当院が導入した逆浸透精製水製造システムは、耐熱型ROモジュールを標準搭載しており、薬品消毒では困難とされていたROモジュールの消毒に加え、全てのROラインの熱水消毒を行っております。ROラインは、個人用監視装置までループしており、原水から末端まで熱水消毒しております。

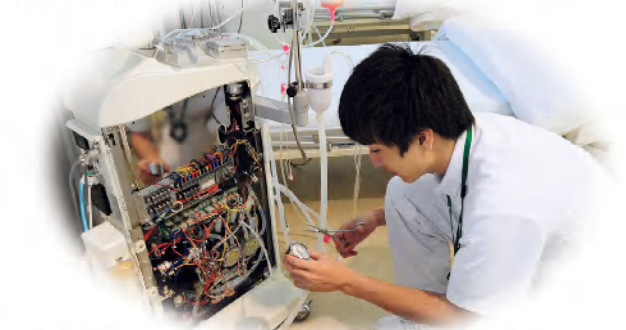
熱水消毒のメリット

- ① 化学物質を用いないため、安全性が高い
- ② 熱水は浸透力が強いので、確実な効果が得られる
- ③ 芽胞以外の一般細菌、ウイルスを不活性化できる
- ④ 耐性菌の心配がない

対策5 水質検査



透析液の清浄度を評価するために、透析液浄化ガイドラインVer2.00に準じて、毎月透析液のエンドトキシン濃度の測定、細菌数測定を行い、高水準の清浄度を維持しております。



透析用監視装置の定期点検・オーバーホール

当院では年間のメンテナンス計画に沿って、臨床工学技士による透析用監視装置の定期点検やオーバーホールを行っております。